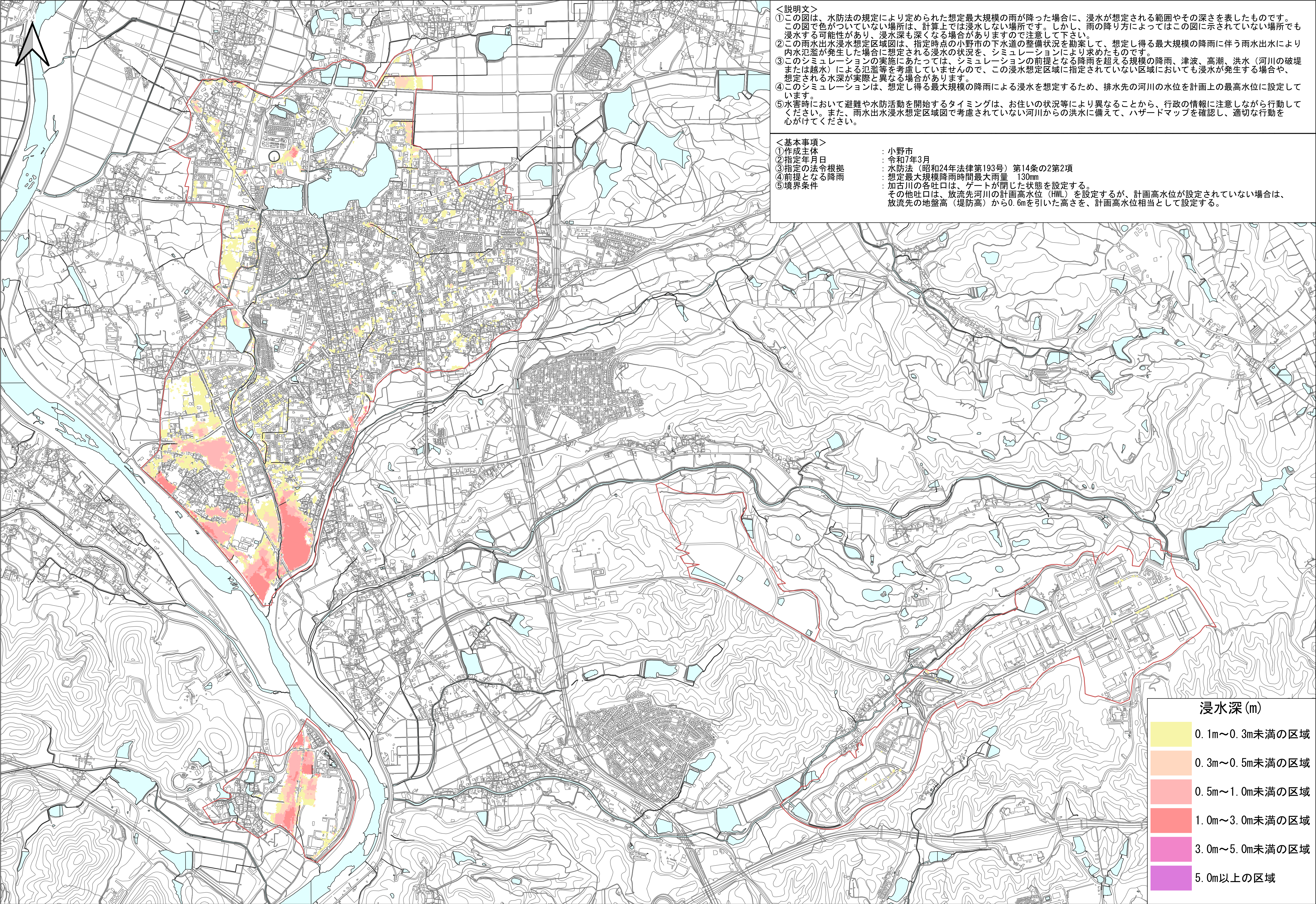


雨水出水浸水想定区域図

1:10000 0 200 400 600 800 1,000 m



＜説明文＞
①この図は、水防法の規定により定められた想定最大規模の雨が降った場合に、浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
②この雨水出水浸水想定区域図は、指定時点の小野市の下水道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
③このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
④このシミュレーションは、想定し得る最大規模の降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を計画上の最高水位に設定しています。
⑤水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、行政の情報に注意しながら行動してください。また、雨水出水浸水想定区域図で考慮されていない河川からの洪水に備えて、ハザードマップを確認し、適切な行動を心がけてください。

＜基本事項＞
①作成主体：小野市
②指定年月日：令和7年3月
③指定の法令根拠：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
④前提となる降雨：想定最大規模降雨時間最大雨量 130mm
⑤境界条件：加古川の各吐口は、ゲートが閉じた状態を設定する。
その他吐口は、放流先河川の計画高水位（HWL）を設定するが、計画高水位が設定されていない場合は、放流先の地盤高（堤防高）から0.6mを引いた高さを、計画高水位相当として設定する。